

## 三浦半島小網代湾津波堆積物に基づく元禄地震より前の関東地震

## Pre-Genroku Kanto Tsunami Deposits found in Koajiro Bay, Miura Peninsula, Japan

# 島崎 邦彦 [1]; 石辺 岳男 [2]; 佐竹 健治 [3]; 都司 嘉宣 [4]; 須貝 俊彦 [5]; 岡村 眞 [6]; 松岡 裕美 [6]; 金 幸隆 [7]; 千葉 崇 [8]; 藤原 治 [9]; 行谷 佑一 [10]

# Kunihiko Shimazaki[1]; Takeo Ishibe[2]; Kenji Satake[3]; Yoshinobu Tsuji[4]; Toshihiko Sugai[5]; Makoto Okamura[6]; Hiromi Matsuoka[6]; Haeng Yoong Kim[7]; Takashi Chiba[8]; Osamu Fujiwara[9]; Yuichi Namegaya[10]

[1] 東大・地震研; [2] 東大地震研; [3] 東大 地震研; [4] 東大地震研; [5] 東大新領域自然環境; [6] 高知大・理; [7] 東大地震研; [8] 東大院・新領域; [9] 産総研 活断層研究センター; [10] 産総研 活断層研究センター

[1] Earthq. Res. Inst., Univ. Tokyo; [2] ERI, Univ. of Tokyo; [3] ERI, Univ. Tokyo; [4] ERI, Univ. Tokyo; [5] Natural Environmental Studies, KFS, UT; [6] Kochi Univ.; [7] ERI, University of Tokyo; [8] Grad. School of Frontier Sci., The Univ. of Tokyo; [9] Active Fault Research Center, AIST, GSJ; [10] Active Fault Research Center, GSJ, AIST

首都直下型地震の活動期は関東地震の 80-90 年前から始まるので、次の関東地震の発生時期を知ることが、首都直下型地震の予測に重要である。次の関東地震の発生時期の予測には、過去の発生履歴が重要であるが、元禄地震より前の歴史時代の関東地震については不明な点が多い。本研究では、元禄より前の関東地震によると考えられる歴史時代の津波堆積物を、三浦半島小網代湾（油壺湾の直近の北に位置する）で発見したので報告する。

湾奥の干潟で溺れ谷を埋める堆積物を深さ 3 m 弱までハンディジオスライサーにより採取した。内湾の泥質細粒砂層中に貝殻片、砂層、小礫、粗粒砂よりなる淘汰の悪い層が、多数地点で三層見いだされた。堆積状況、珪藻分析、粒度分析の結果などから、これらは関東地震による津波堆積物であると考えられ、年代測定の結果から、大正、元禄および元禄より前の関東地震によるものとされた（島崎他、2008 年地震学会秋季大会）。元禄より前の津波堆積物の直下からは 1170-1220AD の年代（暦年補正済みで 2 シグマの範囲、以下同様）の年代が得られており、これは宍倉他（2001）が岩井低地の離水海岸地形から推定した大正型関東地震の発生年代 1050AD 前後よりは新しい。また、この層の上からは、1300-1430AD、1460-1650AD などの年代が得られている。関東地震の候補としては 1293（永仁元または正応六）年の地震（石橋, 1991）、1433（永享五）年の地震（石橋, 1994）などがあるが、以上の結果は 1293 年の地震の津波堆積物の可能性を示唆する。

湾内の音波探査の結果から、海底下約 3m の反射層を始めとして、多数の反射層が認められ、より古い多数の津波堆積物の存在が示唆される。このため、湾内 3カ所でロングジオスライサーによって、堆積物を採取し、現在解析中である。干潟のように津波堆積物は明白ではないが、一地点の深さ 2m までには、4 層のイベント層が認められ、上から 2 番目のイベント層は、年代測定の結果から元禄地震による津波堆積物の可能性が高いと認められる。さらに、上から 3 番目の層内の合弁貝殻からは、1230-1400AD の年代が得られ、1293 年関東地震による津波堆積物の可能性が高い。

正応（永仁）と元禄の間隔は 410 年で元禄と大正の 220 年の倍近い。正応（永仁）関東地震が特別な地震で、次の関東地震までの間隔が長くなった可能性が考えられる。プレート境界の枝分かれ断層と思われる国府津-松田断層の活動時期が 1100-1350A.D.（神奈川県, 2003）であることから、正応（永仁）関東地震の際に、国府津-松田断層が活動した可能性がある。